

楽しく学べるアイデア集

【1】校内スタンプラリー

⇔EXERCISES II

- ① 学校内の施設や教室を回る。教師は予め、「としょしつ」「ほけんしつ」「たいいくかん」など、回る先の名称を仮名で書いたカードを生徒たちに渡す。
- ② 生徒のうちの何名かは、職員室、保健室、図書室、体育館など、担当を決めて、各所に散らばり、スタンプを持って待機している。
- ③ 校内ツアーに参加する生徒は、カードに書かれた施設や教室に着くたびに、待機している生徒と、「ここは としょかんですか。」「はい、としょかんです。」と確認の会話をして、カードにスタンプを押してもらおう。また、必ず、もうひとつ、「こうちょうしつは どこですか」「こうちょうしつは あそこです。」「こうちょうしつは 1かいです。」のように、他の場所についてのQAをすることをルールとする。

* よく知っている校内では面白みが出ないという場合は、校内を観光地に見立て、有名な建物、公園、モニュメントなどの絵や写真を持った生徒が、各所に散らばって、模擬スタンプラリーを行うこともできる。

【2】世界地図ジグソーパズル

⇔EXERCISES II

- ① 一つひとつの国がピースになった、世界地図のジグソーパズルを用意する。国名がかたかな(中国、韓国、日本は漢字)で書かれたものがよい。入手できなければ、厚紙に地図を貼ってから、切り取って作ることもできる。その場合は、大陸ごとに手分けして生徒同士で作ると効率もよいし、学習にもなる。
- ② 各ピースの置き場所について、「日本は ここです。」「イタリアは そこです。」のように、お互いの位置関係からやり取りをしながら、完成していく。

【3】東西南北ゲーム

⇔ SHORT DIALOGUE 1

- ① 4人ずつのグループになり、「ひがし」「にし」「みなみ」「きた」の四枚のカードを一枚ずつ引く。
 - ② 「きた」のカードを持った生徒が、はじめに、好きな位置に立つ。
 - ③ 他の3人は、「きた」の生徒の位置を基準に、東、西、南の位置にそれぞれ正しく立つ。
 - ④ 「きた」のカードを持った生徒が、「もういちど」と言って、新たに好きな位置に立ち、他の3人がそれぞれの位置に立つ。これを何回か繰り返す。
- * じゃんけんで勝った生徒が最初に立ち位置を決めるルールにすれば、「きた」「みなみ」「ひがし」「にし」どこからでも始められる。